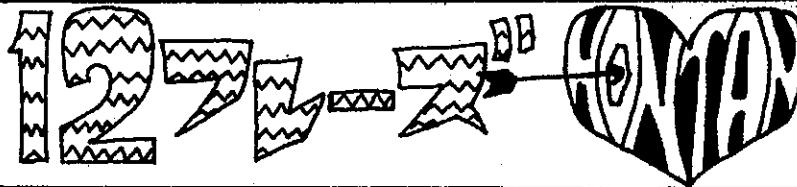


HONtan

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします

第10回

7月1日号



ムニャムニャ
(かわら)です。



今月の12フレーズは、もうすぐ夏ということで、

「思わず背筋がぞっとしたフレーズ」
を集めてみました。皆さんも今年の夏に
「ぞっとしたフレーズ」を探していませんか?

じおかの 綾辺行人 913.6/A
ぞっとした『Another』
「気をつけたほうがいいよ。もう始
まってるかもしれない」
代々続く『呪い』が始まる。

じおかの 金原ひとみ 913.6/K
ぞとした『アッシュベイビー』
「私は布だし、お前はミシンだろ
うか。」
よく言えばやる気なし、悪く言えば無関心

きゆつの 島田莊司 913.6/S
ぞとした『暗闇坂の人喰い木』
「一人で踊り狂つたりして幸福でしたが
だんだんと笑顔が消えてきました」
幸福の理由とは?

まつの 恒川光太郎 913.6/T
ぞとした『南の子供が
夜いくところ』
「イマスクキタッテインダヨ」
魔人に出会ってしまったロボ。灰色の
猿が、死者の世界へと説く。

まつぶの 宮澤賢二 913.6/M
ぞとした『宮澤賢二 20選』
注文の多い料理店
「お気の毒でした。」
注文の意味を知った2人は…。

いたまの 恩田陸 913.6/O
ぞとした『黄白の百合の骨』
「ずっと持っていたの」
彼女の本性が明らかになつた
瞬間

すみが 森博嗣 913.6/M
ぞとした『すべてがFになる』
「何故? どんな理由で? 泣く心事が
ありますか?」
微笑むほがらか天才が語った言葉

むなちゃん 横山秀夫 913.6/Y
のぞとした『真相』
「俺は嘘しかったよ。これまで生
きてきた中で一番嘘しかった。」
——それは友人が死んだ時。

花蓮の 湊かなえ 913.6/M
ぞとした『告白』
「コレハ、セイサイダ!」
人を痛めつける事に悦びを感じてしまう恐怖。

珠の 瀬名秀明 913.6/S
ぞとした『BRAN VALLEY (上、下)』
「地獄が見えた!」
人に神になれるのか。

板の 依井貴裕 913.6/Y
ぞとした『夜想曲(ノクターン)』
「うつし世は夢、夜の夢こそまこと
かもしません」
宿やかな夜こそが主役だからいけない。

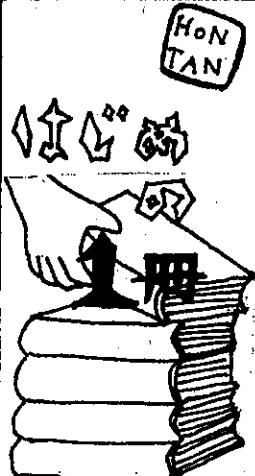
NTRの 夢野久 913.6/Y-1
ぞとした『ドグラ・マグラ(上)』
「モウ一度…今の声を…聞か
してエーッ…」 恐怖を爆発的
にカタカナ。冒頭からTHE夢野久作。

湊かなえを読みはじめるなら ⇒ 「告白」 913.6/M

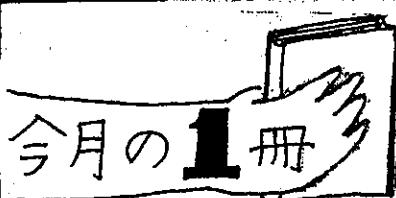
娘は事故で死んだのではなく、このクラスの生徒に殺された。——女教師、森口の告白は教室を異様な空間へと変貌させる。少年Aの詰めの甘い恩恵。牛乳。壊れていく少年B。森口先生の復讐。ルナシー事件。何も知らない後任の熱血教師。始まるいじめ。クラスメイトの告白。母親の告白。少年Bの告白。少年Aの告白。そして復讐の果てにあるものは背筋がぞとする読後感。決して楽しい話ではない。けれどページをめくる手を止めることができない。そんな作品です。

この作品の特徴は、各章違う人物の一人称で描かれていること。一人称は湊作品の特徴でもあるけれど、「告白」は特に、様々な登場人物たちが語る告白から少しずつ浮かび上がる真実に、ついで一氣読みしてしまう人も多いのです。

映画化でも話題をよんだ作者渾身のデビュー作、恐ろしい世界を覗いてみませんか?



<とおか>



あさのあっこ
著

「神々の午睡」
(かみのかみのうせね)
913.61/A

場する。だが、この本に登場するのは絶対的な人格を持った神ではない。ある神は人間に恋をし、ある神は盗賊団と仲良くなれる…。この本に登場するのはそんな「人間のような感情」を持つ神々である。そして物語の最初と最後の話には神と人間の間の存在である「空(くう)」も登場する。彼の役目は、さまざまな宗教や神話のような要素を含みながら、独自の世界観を形成している。それはこの本に登場する人物たちの名前や、国の文化が一つ一つ異なっているからなのかな…。
短編になっていて読みやすいので、ぜひお試しあれ。

〈卯月〉

コラム きゅうの 探力

NO.1 ISBN

略で、日本語にすると「国際標準図書番号」ISBNを見るとどこの国の言葉の本なのかがわかるんです。たとえば前から4番目の数字を見ると、英語圏なら0もしくは1。日本語圏なら4。世界中のありとあらゆる本にこの番号がついているんですよ。

さて、たまには英語で読書はどうでしょう?

「Harry Potter and the philosopher's stone」
J.K. Rowling / 933.7/Ro-[1]

よくわかる HONTAN の 伊藤館長 図書企画 第3巻 卷行者:卯月

～伊藤館長の好きな作家 Part 2～
<日本人作家> 開高健(小説家)、須賀敦子(エッセイスト)
内田樹(エッセイスト) <アメリカの小説家> バーナード・マラマッド、ジンバ・ラビリ、スティーヴン・エリクソン
<外国の作家> R.D.ウイングフィールド、ドン・ウィズローなど



2010年4月～2010年6月
予約件数ランキング
(指定図書はのぞく)

順位 書名

1 告白 湊かねえ [17]

2 IQ84 1
村上春樹

3 カッコウの卵
は誰のもの
東野圭吾

4 IQ84 2

5 新参者
東野圭吾

マンガ好きなら、この表紙を見て気付くと思うが、この表紙を描いているのは某漫画家である。私もこの表紙に引かれて借りてしまった。しかし、一度本を開くと「あさのあっこ」という作家の作る世界観に飲み込まれてしまう。タイトルどおり、この本には「神」が登

場する。だが、この本に登場するのは絶対的な人格を持った神ではない。ある神は人間に恋をし、ある神は盗賊団と仲良くなれる…。この本に登場るのはそんな「人間のような感情」を持つ神々である。そして物語の最初と最後の話には神と人間の間の存在である「空(くう)」も登場する。彼の役目は、さまざまな宗教や神話のような要素を含みながら、独自の世界観を形成している。それはこの本に登場する人物たちの名前や、国の文化が一つ一つ異なっているからなのかな…。

短編になっていて読みやすいので、ぜひお試しあれ。

HONTAN 雑誌の書評を紹介 Pick up MAGAZINES

MEN's NON-NO
2010年7月号
(p140)
男性から
すると、女流作家の描く女性視点の恋愛小説は手に取りにくいのではないですか?
やはり男性としてはロマンスなどよりハラハラドキドキを求めるものなのでしょうか。しかし本誌のインタビューに答えている黄井徳郎さんはMY RECOMMENDで角田光代さんの「対岸の彼女」を薦めています。これを機に女流作家さんの本を手にとてみるのはいかがでしょうか。新しい世界が開けるかも…?
『対岸の彼女』 角田光代著 916.6/K

〈+ほか〉

U
HONTAN
展示で
みつけ
休憩室展示紹介

今回のテーマは、「有名人が選ぶ本の帯」です。HONTANの卯月といとまが数ある帯の中でも、小説家、タレント、脳科学者、シンガーソングライターなどの有名人が紹介する帯を集めて展示了しました。

あなたの好きな人が紹介しているかも…。〈卯月〉

今回は12フレーズごとに
する話を特集しましたが、日頃読む本にかたよりも
かたためか、探すのに大変苦労しました。また、あてはまる
本が意外に大学になかった!など。

「ぞっとする」＝「ホラー」にならないのがHONTAN。これからも予想を裏切っていきます。

〈卯月〉